

AUBADE HALL CALENDAR

2014 11	15 土	桐朋アカデミー・オーケストラ 第49回 定期演奏会 [開演]14:00 [問]桐朋学園音楽部門 富山キャンパス事務部演奏課 076-434-6800
	17 月	時代をつむぐ 未来へつなぐ 富山県大正琴連盟 第3回 大正琴フェスティバル [開演]12:00 [問]北日本新聞社 事業局内 076-445-3355
	18 火	スルル・ナ・ホーダ [開演]19:00 [問]MIN-ONインフォメーションセンター 03-3226-9999
	19 水	松平健×川中美幸ビッグコンサート2014 [開演]14:00/17:00 [問]鶴飼興業 052-221-1166
	24 月・祝	オペラ公演・モーツァルト「魔笛」全II幕 日本語上演 [開演]14:00 [問]富山県芸術文化協会 076-441-8635(内線123)
	25 火	稲盛和夫 県民フォーラム in 富山 [開演]15:00 [問]稲盛和夫県民フォーラム実行委員会 076-471-6373(富山いすゞ自動車社内)
	27 木	ポリショイ・バレエ「白鳥の湖」 [開演]18:30 [問](公財)富山市民文化事業団 076-445-5610
	28 金	男声合唱団K&クルー 第36回 定期演奏会 [開演]19:00 [問]男声合唱団K&クルー事務局(猪又) 076-442-4151
	30 日	第51回 富山工業高校吹奏楽部 定期演奏会 [開演]14:00 [問]富山県立富山工業高等学校 076-441-1971
12	6 土	トヤマ・パフォーミングアーツ・フェスティバル2014 in オーバード・ホール [開演]13:00 [問](公財)富山市民文化事業団 076-445-5610
	11 木	第29回 龍谷富山高等学校吹奏楽部 定期演奏会 [開演]18:30 [問]龍谷富山高等学校 076-441-3141
	14 日	第21回 自衛隊演奏会ミュージックフェスタ2014 in TOYAMA [開演]13:00/18:00 [問]ミュージックフェスタ in TOYAMA実行委員会 076-441-3271
	18 木	富山商業高校吹奏楽部「ホットコンサート」2014 [開演]18:30 [問]富山商業高校吹奏楽部 076-441-3438
	23 火・祝	KNBクリスマススペシャル スーパー戦隊スーパーライブ2014 [開演]11:00/15:00 [問]北日本放送 事業局 076-432-5555
	25 木	第50回 第九交響曲 歓喜のタペ2014 [開演]18:30 [問]北日本新聞社 事業部 076-445-3355
	27 土	S.O.B. (スライキング・オリジナリティ・バンド) 15th Concert "MILESTONE" [開演]18:30 [問]S.O.B.事務局 090-8969-7327
	28 日	～創立60周年～富山大学フィルハーモニー管弦楽団 第55回 定期演奏会 [開演]18:30 [問]富山大学フィルハーモニー管弦楽団 メールアドレス uni_toyama_phil@yahoo.co.jp

上記は2014年10月15日現在の情報です。変更および追加となる場合があります。



Facebook
はじめました!

公演の情報やこぼれ話など、総務企画課スタッフが
オーバード・ホールの話題を不定期にお届けします。
ぜひ「いいね!」お待ちしております!
<https://www.facebook.com/aubadehall>



オーバード・ホール (富山市民文化事業団)

〒930-0858 富山市牛島町9-28 TEL076-445-5620

<http://www.aubade.or.jp>

交通のご案内 JR 利用 JR富山駅下車、北口正面から徒歩2分
航空利用 富山空港よりタクシーで20分 バスで富山駅まで25分
お車利用 北陸自動車道富山I.C.出口から20分

※オーバード・ホールには駐車場がございません。
近隣の有料駐車場をご利用ください。公共の交通機関のご利用をおすすめします。

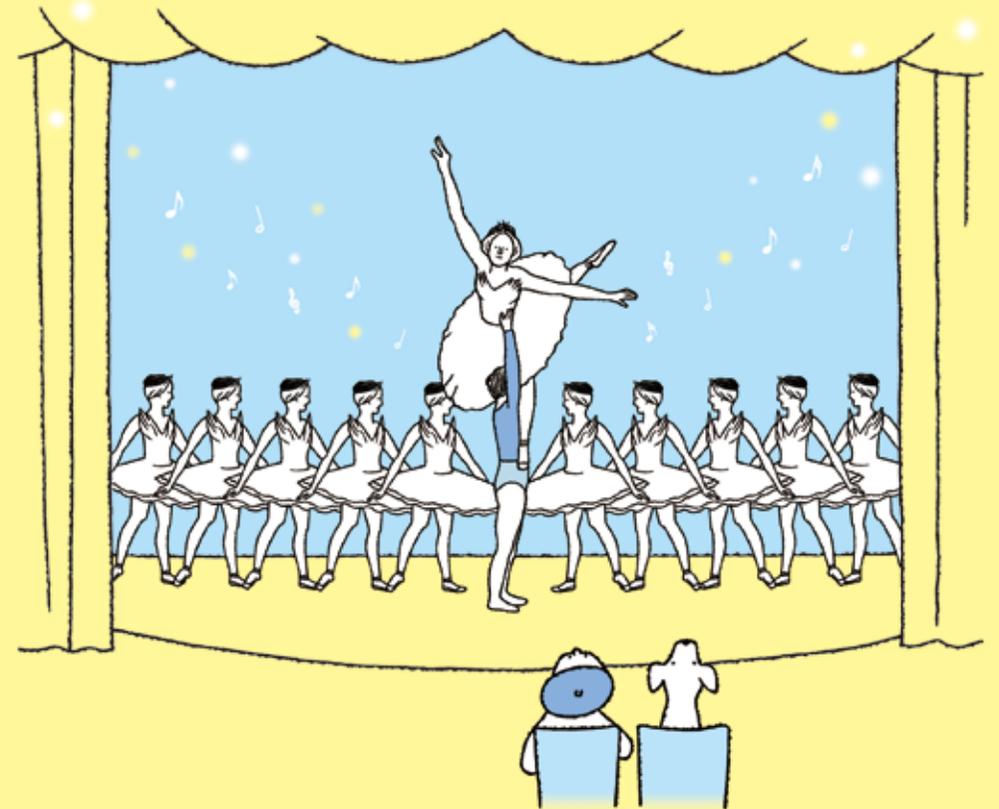
発行所 公益財団法人 富山市民文化事業団 総務企画課 TEL076-445-5610

表紙イラストレーション: 唐仁原教久 企画・編集・デザイン: アイアンオー 発行日: 2014年11月14日

mitemite

シアターライフを楽しむ情報誌 【ミテミテ】 by オーバード・ホール

2014
Autumn
Vol.42



◎ミュージカル「ショウ・ボート」制作発表

◎ポリショイ・バレエ「白鳥の湖」

◎エッセイ／浜畑賢吉



AUBADE HALL



ラブソングがいっぱい

『ショウ・ボート』翻訳・訳詞 高橋知伽江

なんて大作なんだろう……訳しても訳しても終わらない分厚い台本と楽譜と格闘しながら、何度ため息をついたことか。名作『ショウ・ボート』を訳す機会をいただいて大喜びしたものの、その長さやブロークンな黒人英語に悩まされ、翻訳はミシシッピ川を泳いで渡るような難行苦行。何度か溺れかけましたが、最後までたどりついた時は、物語の壮大さと感動の深さにあらためて心うたれました。

人種差別という社会的テーマを前面にだしていることで、1927年の初演当時はかなりセンセーショナルであったかと推測しますが、この作品の本質は《愛の物語》だと思います。とにかく、ラブソングがいっぱい。しかも、どれも美しく、せつなく、ユニークで楽しい！一つのミュージカルでこれほど多くのラブソングを訳したのは初めてです。

一目で恋に落ちた二人の歌、なぜか愛さずにいられない恋心の歌、去って行った恋人を想う歌、愛し合う二人の至福に満ちた歌。まだまだあります。男女の愛だけではありません。家族の愛が全編を流れ、何よりも舞台への愛があふれんばかりに物語をいろどっています。おそらくご観覧後の帰り道では、お気に入りのラブソングを口ずさむことになるでしょう。

「オールマン・リヴァー」のようによく知られた名曲を訳すのは光栄ですが、プレッシャーもありました。できるだけ歌い手であるジョーの心に寄り添って訳してみました。長年しいたげられてきたからこそ歌える人生観がだせたでしょうか。物語の中でジョーは何度もこの歌をうたい、その時々、胸に深くしみ入ります。味わい深い歌です。



ハロルド・プリンス演出版『ショウ・ボート』は1995年のトニー賞でベスト・リバイバル賞を含む3部門受賞という輝かしい実績があるにもかかわらず、日本上演は今回が初めてのこと。欧米発のミュージカルがたくさん上演されている日本では不思議なことと思っていましたが、実際に翻訳してみても納得しました。ふつうの日本の劇場でははみだしてしまう程、スケールが大きいのです。大河ドラマ級の物語、重厚なテーマ、たくさんのお出演者、数々の名曲—どれもをとってもグランド・ミュージカルと呼ぶにふさわしい作品です。オーバード・ホールだからこそ上演できるといっても過言ではないでしょう。早春の富山に響きわたる美しいメロディーを想うと、今から開幕が待ち遠しくなりません。



プロフィール

劇作家、翻訳家。東京外国語大学卒業。劇団四季、新神戸オリエンタル劇場を経て、1997年よりフリーランスで演劇台本の執筆、翻訳、訳詞などを手がける。2011年、ノエル・カワードの戯曲『秘密はうたう』『出番を待ちながら』の翻訳により第4回小田島雄志・翻訳戯曲賞を受賞。2013年4月、水戸芸術館演劇部門芸術監督に就任した。主な戯曲翻訳としては、『クレイジー・フォー・ユー』『リトル・ナイト・ミュージック』『ステッピングアウト』『モダン・ミリー』『セレブの資格』等、多数。また、『アナと雪の女王』を始め、『魔法にかけられて』『塔の上のラプンツェル』などディズニー映画で訳詞も担当。

オーバード・ホール名作ミュージカル上演シリーズ第5弾

ショウ・ボート

SHOW BOAT
 “SHOW BOAT”
 Music by JEROME KERN
 Book and Lyrics by OSCAR HAMMERSTEIN II
 Based on the novel “Show Boat” by Edna Ferber

2015年
 3月12日(木) 13:00/18:30開演
 13日(金) 18:30開演
 14日(土) 13:00/18:30開演
 15日(日) 13:00開演

※開場は各回開演の30分前
 会場：オーバード・ホール

来春、富山発。「ショウ・ボート」の制作発表！

1927年初演で大ヒットを記録、現在のブロードウェイ・ミュージカルの礎となった金字塔「ショウ・ボート」。日本初演となるハロルド・プリンス版に、オーバード・ホール名作ミュージカル上演シリーズが挑みます。その制作発表が富山市民芸術創造センターで、メインキャストとスタッフが顔をそろえて開催されました。



「ショウ・ボート」という作品を、どうしてもどうしてもやりたいたいという思いがあって、久しぶりに勇気をふりしほってオーディションを受けることにしました。仕事の合間をぬって稽古をして、これでダメならしょうがないという覚悟でのぞみました。やっとなんだかマグノリア役、一生懸命務めさせていただきました。富山発のミュージカルは東京ではかなりの評判になっていて、自分が教えている大学でも、私が主役をやると決まると学生にもうやましがられています。演出のロジャーさんにこれは若い娘の話ではないと言われ、私にも演じる資格があるかなと思いました。一人の女性が、一人の人間として地に足をつけて立てられるかどうか。私の人生経験を生かして、マグノリアに投影させていきたいと思っています。



第1回の「回転木馬」の舞台稽古におじゃまして、舞台の奥から回りながら回転木馬が出て来るのを見て、度肝をぬかれました。まさか富山で、東京でも見たことのないものを見られるとは、と本当にびっくりしました。そこからやっとの思いでこの場に立つことができました。土居さんと同じくオーディションを受けて、この役を得ることができませんでした。この富山でやっているミュージカルは、本当にちゃんとしたミュージカルです。ちゃんとした人たちがちゃんとつくっているちゃんとしたミュージカルです。そこに参加させていただき、こんな大役に挑戦できることを光栄に思います。演じる役の年齢が長いのが、むずかしいところ。東京でもなく大阪でもなく、富山からこの作品を発信できるすばらしさを身をもって体験したい。



5年間続けて出演させていただいて、こんなに幸せなことはありません。初演の「回転木馬」は東日本大震災があった年で忘れられない。「ハロー・ドリー！」「ミー&マイガール」、とやらせていただいて、回を重ねるごとにお客さんが増え、公演回数も出演者も増え、広がりを見えています。今回は東京でいつも一緒にやっている仲間と、この富山で共演できます。5年の間にいろんな絆が生まれ、富山ですばらしいことをやっている証だと思えます。5年目の集大成をみなさんと共に、次につながるよう成功させたい。



5年前に富山ですごいことが始まった、という噂を東京で聞きました。ミュージカルを本格的にやっている、という評判だったのですが、それが毎年続いているところがすばらしい。すごいなうらやましいなと思っていたところ、やっとな出演ができませんでした。若い時に映画でこの作品をみて、やるならゲイロード役がいいな、あの役やりたいなと思ったことを思い出しました。しかし、なぜかアンティ船長の役が来て、時が流れていることに気づきました(笑)。

扇田昭彦氏(演劇評論家)



富山で「ハロー・ドリー！」を観て、水準が高いのでびっくりしましたし感動しました。ぜひ、もうひとつこのシリーズでやってほしいミュージカル、それがこの「ショウ・ボート」でした。ブロードウェイミュージカル初期の大傑作で、ショウ・ボートを経営する芸人一家の話ですが、家族の物語であると同時にアメリカの芸能史の流れを描いた作品でもあります。アメリカ南部における黒人差別の問題を正面から描いた、エンターテインメント性もあると同時に社会性もある作品。ジェローム・カーンの品のある音楽には、現在のミュージカルでは失われてしまったノスタルジックな美しさがあります。ほんとうに美しいメロディーを、もう一回聞いてみたい。今回の上演では最高のキャストがそろっていますので期待しています。



いま、スタッフのみなさんの熱い思いを聞いて、これははまってしまうと気持ち持を新たにしました。最初はお母さん役かな、20年若ければエリーを受けようかなと思っていたが富山ミュージカルは年齢層が高く(笑)、おかげさまでエリー役ができることに感謝します。歴史のある5年間に恥じないように、ショウ・ボートの船に足をつけて、乗っていきたく思いますのでよろしくお願います。



富山に住民票を移そうかと思うほど(笑)、このミュージカルシリーズに深く関わってきました。この役ははくの大好きなボードビルを劇中でお見せするという役どころなので、その時代の匂いとかエンターテインメントにこだわって演じたいと思っています。市民の方とコラボするのも楽しみ、みなさんと一緒に作品に向き合っていきたい。



富山出身なので、どうしても富山でつくるこのミュージカルシリーズに出演したいという思いがありました。オーディションを受けて合格の知らせをいただいたとき、本当に飛び跳ねて喜びました。宝塚の後輩として絶対に剣さんと一緒に舞台上に立ちたかったので、今回一緒にすることができてうれしいです。昔のミュージカル動画を探してみたら、とにかくキムの踊りも歌もかわいいので、今からお稽古が楽しみです。みなさんの心にちゃんと残る舞台になるようがんばります。

オーバード・ホール名作ミュージカル上演シリーズ第5弾

ショウ・ボート

SHOW BOAT

演出・振付: ロジャー・カステヤノ / 技術監督: 毎熊文崇
翻訳・訳詞: 高橋知伽江 / 照明: 渡部良一
音楽監督: 八幡 茂 / 音響: 曾根 朗
歌唱指導: 小林 仁
舞台美術: 土屋茂昭 / 芸術監督: 奈木 隆
衣裳: 井上サチ子 / 企画・制作: (公財)富山市民文化事業団
ヘアメイク: 宮内宏明

奈木 隆(芸術監督)



アメリカで生まれたミュージカルのいちばん最初の作品が「ショウ・ボート」で、このミュージカルをどこかがちゃんとやらなくてはいけない、とずっと思っていました。ハロルド・プリンス版は日本初演ですが、なぜこれまでできなかったかという、日本の文化では理解しにくい部分もあるし、時代も40年にわたっている大作ですし、とにかく大変なんです。でも、今ならできる、立ち向かうパワーを我々も持っている。特に今回のキャストは絶対にいけると信じています。ミュージカル上演シリーズの第5弾、集大成にふさわしい最高の「ショウ・ボート」ができると思います。



永遠の古典、美しい愛の物語を 最上の音楽と踊りで楽しむ。



《予定キャスト》



オデット/オディール (マリーヤ・アレクサンドロワ) ジークフリート王子 (ウラディスラフ・ラントラートフ) 悪魔ロットバルト (アルテミー・ペリャコフ)

※ジークフリート役を予定していたデニス・ロチキンに代わり、ウラディスラフ・ラントラートフが出演予定となりました。なお、キャストの正式な発表は当日です。



ボリショイ劇場管弦楽団

ボリショイ・バレエ「白鳥の湖」

<全2幕4場> 上演時間:約2時間35分(休憩1回含む)

作曲:ピョートル・チャイコフスキー

原振付:マリウス・プティパ/レフ・イワノフ/アレクサンドル・ゴルスキー

改訂振付:ユーリー・グリゴロヴィチ(2001年版)

管弦楽:ボリショイ劇場管弦楽団



2014年11月27日(木) 開演18:30(開場17:45) オーバード・ホール

○全席指定: S席16,000円、A席13,000円、B席10,000円、C席7,000円、

学生券(小学生~大学生)2,000円(150席限定) * 未就学児童入場不可

Story [ストーリー]

(第1幕1場)

城内。王子ジークフリートの成人式が祝われている。母から妃を選ぶことが命じられるが、王子は心が晴れない。

(第1幕2場)

夜、森の湖畔。憂鬱な気分であんなに森に出掛けた王子は、そこで白鳥が美しい女性に変身するのを目撃する。王子はその中でひととき気高く美しい女性、オデットにたちまち心を奪われてしまう。オデットは「真の愛のみが悪魔ロットバルトの支配からオデットと大勢の娘たちを救うことができる、しかし、もしその誓いが破られれば二度と人間に戻ることはできない」と語る。王子は彼女たちを救うためオデットに永遠の愛を誓い、明日の舞踏会にオデットを誘う。

(第2幕1場)

宮廷の舞踏会。王子の花嫁候補の娘たちが踊っているが、オデットを愛する王子は上の空。そこに、ロットバルト伯爵という貴族とその娘のオディールが現れる。王子はこのオデットにそっくりなオディールに幻惑され、本当のオデットではないことに気がつかない。ついに王子は彼女こそ自分の花嫁だと宣言してしまう。その瞬間、ロットバルト伯爵とオディールは正体を現し、王子をあざ笑って去っていく。

(第2幕2場)

森の湖畔。オデットは悪魔ロットバルトの策略にはまり、心ならずも王子が裏切ってしまったことを嘆き悲しみにくれている。そこに王子が許しを乞いにくる。彼を許すオデット。しかし、ロットバルトが愛する二人を引き離そうと現れ……。

© Damir Yusupov

The Bolshoi Ballet

チケット情報はP.13をご覧ください。

シアターに夢中!

ポリショイ・バレエ「白鳥の湖」の見どころ

(ポリショイ・バレエNY公演レポートより)



品格のある踊りと圧倒的なテクニック!

永遠の古典、バレエの代名詞と言われる「白鳥の湖」。その見どころはたくさんありますが、今回の富山公演、最大の楽しみは、見どころ満載の踊りの数々を世界に誇るポリショイ・バレエ団が踊ること。そして、プリンシパルには、この夏のニューヨーク公演でも大成功を収めたマリーヤ・アレクサンドロワとウラディスラフ・ラントラートフを予定、これも楽しみのひとつと言えます。

ニューヨークでの「ドン・キホーテ」では、アレクサンドロワが演じるキトリの大きな笑顔、豪快なポーズが決まるたびに大喝采。どんな人のどんな気持ちも一瞬でスカッと元気にさせてくれるパワーを放っていました。ジャンプはダイナミックで足は軽く高々と上がり、何より彼女自身がはつらつと、自然体で役と踊りを楽しんでいるようでした。また、バジル役のラントラートフはスピードとキレのある踊りで観客を沸かせました。長い手足を生かしたダイナミックなジャンプ、そしてピルエット(ターン)の回転数とバランスの美しさには会場中が興奮しました。

さすがポリショイ・バレエ団のダンサーたち。

主役の2人は勿論の事、さすがロシア最高峰のバレエ団だと感じるのはダンサー全員のクオリティ。踊りの大きさ、スピード、クラシックバレエの美しさは勿論のこと、子供の頃からキャラクターダンスのレッスン・トレーニングを受けているので首の付け方や手の使い方もとても魅力的です。さすがポリショイ・バレエ団という、久しぶりにわくわくするバレエが見られます。

また、今回のオーバード・ホールでの公演では、チャイコフスキーの抒情的でドラマティックな音楽をポリショイ劇場管弦楽団の生演奏で楽しめることも見どころのひとつではないでしょうか。



マリーヤ・アレクサンドロワ、新着インタビューより。

今回の日本ツアーに際して、アレクサンドロワのインタビューが実現しました。その貴重なお話の中から、「白鳥の湖」について述べているところを紹介しましょう。

「女性はまったく正反対の性格を心に秘めていると思います。2つの両極端な性格が共存していると言っても良いでしょう。『白鳥の湖』はその2つの性格を表現する作品ですね。私は強い身体に恵まれていますし、性格も強い部分があります。と同時に、とても繊細な部分もあわせもっています。こわれやすい(フラジイルな)部分もあって、その両方をお見せできると思います。オデット&オディールという役は、その作品を踊ることによってより自分自身を理解し、身近に感じることができる作品です。私は、これまでの人生で、安易な道か、困難が多くとも実り多き道か、どちらかを選ぶような場面では、常にどんなに苦しくても後者を選択してきました。歩みやすい道を選んで生きる、というような生き方はしてきませんでした。何回も踊っている役でも、簡単にルーティーンのように踊るということは決してありません」

2つの異なる性格をもつ役を、アレクサンドロワがどのように演じるのか、想像するだけでもわくわくします。

ポリショイの新プリンス、ウラディスラフ・ラントラートフ。

今回、富山公演に出演が予定されているラントラートフは、相手役のアレクサンドロワについてインタビューで次のように語っています。

「アレクサンドロワは素晴らしいバレリーナです。彼女と踊るとすごく自由を感じているし、お互いにすごく理解をしていると感じますね。彼女と踊るときには、別々に踊るのではなくて、一つのものになっているような気がします」。

また、来日について「前回の来日以来、日本をととても懐かしく思っています。日本では特別な生活のリズムを感じられる。あとは人が素晴らしい。ロシアのバレエダンサーに対してはとても親切でね、だから日本は大好きです」と話しています。

芝居とミュージカル

浜畑賢吉



「ミュージカル」とは変な言葉なんです。本来はミュージカルプレイ、ミュージカルコメディ、ミュージカルファンタジーなどの名称、つまり「音楽的」なものという意味から生まれたものなのです。ですから60年代まで日本ではまだ「ミュージカルス」と、最後にスを付けていました。

私は芝居もミュージカルもテレビや映画、ラジオまで何でもやらせて貰いましたが、ミュージカルに出演すると、「歌やダンスもなさるなんて器用なんですね!」と、よく言われました。とんでもありません。「お前ほど不器用な奴は滅多にいないね」と、先輩諸氏に言われてきた私です。正にその通りでした。

その不器用俳優が色々やって来て判ったことがあります。芝居の俳優は山登りのように一歩一歩地を踏みしめながら時間をかけて山頂を目指します。それがミュージカルになると登り口に音楽というケーブルカーが待っていてくれて、乗りさえすれば目指す頂上へ辿りついてしまうのです。山頂に行き着くことには変わりありません。

しかし、登る準備の段階、持ち物、歩きながら接する大自然の有り様、空気の変化等々、ケーブルカーには関係のないそれらのプロセスがお客様に何かを伝えていることに気が付いたのです。

ミュージカル出演の場合、ケーブルカーには乗りますが、それは本番の時だけ。稽古中は何故あの山頂を目指すのかという哲学を追究し、どんな装備で、どのコースの山道を歩くかを想定しているのです。まあ、素足で山登りしているようなものです。

ロンドン発のミュージカルがロイヤルシェイクスピア劇団などの俳優でスタートしていることを考えても、ミュージカルとはアクターやアクトレスの仕事なんですね。大阪芸大で学生たちにもそう教えています。

日本の現状がダメと言うのではなく、今が一つのプロセスと考えれば、次世代の若者たちにかける期待は大きくなります。その為にも、とても薄くなってしまった劇場の観客層を厚くしておいてやらなくては、というのが今の私の課題です。

Profile

東京生まれ。東海大学機械工学科を中退し、俳優座養成所(15期)を経て、1966年劇団四季入団。「ハムレット」、「コーラスライン」はじめ多彩な舞台で活躍。94年退団後はフリーとして、俳優や音楽活動のほかTV、ラジオ、講演やナレーション、著作(代表作「役者語・にほん語・外来語」、「ぼっけもん走る」、「舞台に生きる」など)や新聞等のコラム・論評の執筆と、多彩な分野で活動。現在は大阪芸術大学教授／舞台芸術学科・学科長を務める傍ら、その豊富な経験を生かし、ミュージカル「アブロズ」(前田美波里・貴城けい出演)で初の商業演劇の演出を手掛ける。続く「ビクター・ビクトリア」「ブロードウェイ・ミュージカルライブ」等、ミュージカル舞台の演出でも高い評価を得ている。

トヤマ・パフォーミング・フェスティバル2014

こう見えて、アタシ、地元じゃ、有名なんです。

in オーバード・ホール

トヤマ・パフォーミング・フェスティバルとは、富山市民芸術創造センターを利用しているアマチュア芸術団体が日頃の練習の成果を発表する、年に1度の祭典です。11月8日(土)9日(日)に芸術創造センターで行われたこのイベントを、12月6日(土)には、オーバード・ホールで開催します。出演応募団体の中から選ばれた8組の大舞台での素敵なパフォーマンスにご期待ください。

12/6(土)
13:00~17:30
入場無料

No.1

13:00~13:30
オルケスタ S.O.B
[swing jazz
(ビッグバンド)]



休憩15分

No.2

13:45~14:15
越中八尾おわら道場
[おわら踊り]



No.3

14:20~14:35
オラ ナニ アロハ
フラサークル
[フラダンス]



No.4

14:40~14:55
フラ・ハーロー・ブア・
オヒア・ワイリイウラー
[フラダンス]



No.5

15:00~15:15
モーハラブア
[フラダンス&
ハワイアンバンド]



休憩20分

No.6

15:35~16:05
富山Jazzコーラス
[ジャズ・コーラス]



No.7

16:10~16:40
のほほん♡ベリー
[ベリーダンス/
アラビア民族舞踊]



休憩20分

No.8

17:00~17:30
滝沢恵フラメンコ
ブラサ・アレグレ
[フラメンコ]



ミテミテ 読者コーナー



来年3月12日からの名作ミュージカル上演シリーズ「ショウ・ポート」の公開、今から楽しみにしています。また、コンサートの1日の楽しみ方、機会があれば、実践してみます。次号のvol.42も楽しみにしています。(富山市 S.F)

今回のプレゼント 読者コーナーに投稿してプレゼントをもらおう!

DRUM TAO
2014ツアー公式グッズ
トートバッグ 2名様



mite miteの読者コーナーにメッセージをお寄せいただいた方の中から、抽選で2名様にDRUM TAO 2014ツアー公式グッズトートバッグをプレゼントいたします。(当選は発送をもって代えさせていただきます。)

●オーバード・ホールで鑑賞した公演の感想などを自由にお書きください。●オーバード・ホール、mite mite本誌へのご意見、ご感想もお待ちしております。あなたのお名前、ご住所、電話番号を明記のうえ、mite mite編集部まで郵便またはFAX、メールでお送りください。

mite mite 編集部 〒930-0858
富山市牛島町9-28 オーバード・ホール内
voice@aubade.or.jp FAX 076-445-5611

ミテミテ 芸術監督日記

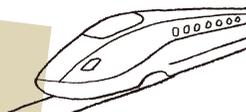
1969年8月15日から3日間、アメリカ合衆国ニューヨーク州サリバン郡ベセルで伝説的な野外ロックコンサート、ウッドストック・ミュージック&アートフェスティバルが開催されました。全米から50万人以上の若者たちが、LOVE & PEACEの掛け声のもと結集したのです。当時、中学生だった私は、そのコンサートの存在を開催された1年後に知り、なぜ自分がその現場に行けなかったのだろうと思いました。もう少し早くこの世に生まれていればと悔やんだのです。それほど私に憧れを抱かせた60年代後半アメリカの若者たちは、愛と平和を力強く掲げて、音楽・アート・反戦活動に活発でした。しかし、彼らはその後1975年、ベトナム戦争敗戦で挫折感を味わいます。心の声であった音楽も商業化し、お金を稼ぐ道具に

なり、戦争は絶えずどこかの国で行われ、愛と平和の精神がごとごとく打ち砕かれてしまいます。若者たちの理想と現実の問題は、2014年の現在、世界的に見ても増々状況が悪化していると感じます。私は、性善説を信じたいと思います。世界中の人々がもっと連携を保ち、より良い世界を構築するために努力しなければなりません。そこで劇場は、何が出来るのだろうか?と考えます。若者たちにより良い未来を用意する為に私たちが出来ることをしておきたい。本物の舞台芸術作品をここオーバード・ホールで1本でも多く上演し、一人でも多くの若者に観てもらいたい。人生の中で、心に響く感動体験をしてもらいたい、...そう思います。



奈木 隆
富山市民文化事業団 芸術監督

ミテミテ 系編集後記



●台風18号が首都圏を襲った朝、出張で東京へ向かった。運よく「はくたか」は通常運行。道中不安であったが、着いてみれば東京には青空が広がっていた。ラッキーなスタートのお蔭で目的も無事果たせた。今、ミュージカル「ショウ・ポート」の準備が着々と進められている。今回の出張もこの公演に関わりがあったことから、帰りの車中、この流れていけば公演もきっと大盛況に違いないと思った次第である。今から北陸新幹線と「ショウ・ポート」で賑わう新富山駅が目に見えよう。 (きよくちよー)

詳しくは <http://www.aubade.or.jp>

主催公演情報

※やむを得ない事情により出演者、曲目は変更になる場合がございます。ご了承ください。
 ※未就学児童のご入場については、各公演で異なります。HP等でご確認ください。

11/27 木 **ボリショイ・バレエ「白鳥の湖」**

バレエの殿堂、頂点の輝き！
 ●日時=11/27(木) 18:30開演
 ●会場=オーバード・ホール
 ●料金=[全席指定]S席16,000円(予定枚数終了)
 A席13,000円 B席10,000円 C席7,000円
 学生券2,000円<150席限定>
 ●管弦楽=ボリショイ劇場管弦楽団
 ●<全2幕4場>上演時間:約2時間35分(休憩1回含む)



好評発売中!のこりわずか!

© Damir Yusupov

12/6 土 **トヤマ・パフォーミングアーツ・フェスティバル2014 in オーバード・ホール**

こう見えて、アタシ、地元じゃ、有名なんです。
 ●日時=12/6(土) 13:00~17:30
 ●会場=オーバード・ホール ●料金=入場無料
 ●出演=オルケスタ S.O.B.、越中八尾おわら道場 ほか
 詳しくはP.11をご覧ください。
 ◎本イベントは、東日本大震災復興支援チャリティイベントとして開催します。



入場無料

12/25 木 **第50回 第九交響曲 歓喜の夕べ2014**

北日本新聞創刊130周年記念
 ●日時=12/25(木)18:30開演 ●会場=オーバード・ホール
 ●料金=[全席指定]S席5,500円 A席5,000円 B席3,500円(完売)
 ●ソリスト=澤山晶子[ソプラノ]、小野美咲[アルト]
 澤武紀行[テノール]、小林大祐[バス]
 ●指揮=現田茂夫 ●管弦楽=東京交響楽団
 ●合唱=富山県合唱連盟「第九」合唱団 ほか
 ●曲名=ベートーベン:交響曲第9番(合唱付) ほか
 ●特別イベント=ホールホワイエにて『富山の「第九」半世紀のあゆみ展』を同時開催



好評発売中!のこりわずか!

数々のスターが弾いたあのピアノ…名器「ベーゼンドルファー」を、
 オーバード・ホールの舞台上で弾いてみませんか?
オーバード・ホールピアノ体験



■実施 日/2015年1月5日(月)~9日(金)
 ■対象/小学生以上の個人(小学生は保護者等の同伴が必要)
 ■お問合せ/オーバード・ホール管理課 076-445-5620
 お申込み方法など詳細は、後日オーバード・ホールHPに掲載いたします。

2015

1/31 土 **第25回 富山市美術作家連合会展**

●日時=1/31(土)~2/11(水・祝) 10:00~18:00(最終日は、16:00まで)
 ●会場=富山市民プラザ・アートギャラリー、アトリウム[2階]、
 マルチスタジオ[3階]
 ●料金=入場無料
 ●展示内容=洋画・彫刻・写真[アートギャラリー]
 版画・工芸・書[アトリウム]・日本画[マルチスタジオ]



入場無料

親子ワークショップ「羊のトレイをつくろう!」
 ●日時=2月1日(日) 10:00~12:00 ●会場=富山市民プラザ・AVスタジオ ●参加費=800円(1作品につき)
 ●申込方法=お名前・電話番号・参加者人数・年齢をご記入のうえ、FAXでお申込みください。(先着10組)
 ●お申込先=(公財)富山市民文化事業団 総務企画課 FAX 076-445-5601

2/25 水 **市民のためのランチタイム ジョイフルコンサート Vol.33**

●日時=2/25(水) 11:50開演 ●会場=富山市民プラザ・アトリウム[2階]
 ●料金=入場無料 ●出演=未定(後日、HP等に掲載いたします。)

入場無料

3/12 木 **ショー・ボート**

●日時=3/12(木) 13:00/18:30開演
 13(金) 18:30開演
 14(土) 13:00/18:30開演
 15(日) 13:00開演
 <全6回公演>
 ●会場=オーバード・ホール
 ●料金=[全席指定]
 大人券 5,000円
 ジュニア券 2,000円
 ●出演=土居裕子、岡幸二郎 ほか
 ●特別出演=剣 幸、浜畑賢吉
 ●指揮=若林裕治
 ●演奏=ミュージカルオーケストラTOYAMA



一般発売日:12/7(日)~



土居裕子 岡幸二郎 剣 幸 浜畑賢吉
 (マグリシア) (ゲイロード) (ジュリー) (アンティ船長)

「ショー・ボート」特別割引チケット情報

平日公演を座席エリア&席数限定で30%割引!

平日の公演をよりお手ごろにお楽しみ頂くために、充実の割引プランをご用意しました。

	対象
●シニア割	60才以上(昭和28年以前にお生まれ)の方
●ベア割	同じ公演をおふたりで鑑賞の方
●マイセレクト割	公演日時、券種の組み合わせは自由で、2枚以上同時にご購入の方
●障害者割	障害者手帳をお持ちの方 ※チケット購入時または公演入場時に手帳をご提示ください。

※上記割引チケットはアスネットカウンター(オーバード・ホール1階)でのみご購入いただけます。
 ※各種割引の併用はできません。



対象:小学生 ◎学生券をお持ちの方は公演当日、空席からお席をご用意します。◎アスネット
 ~大学生 会員割引はございません。◎枚数は限定とさせていただきます。



対象:小学生
 ~高校生

チケットのお求め | アスネットカウンター | TEL 076-445-5511 | 営業時間 10:00~18:00
 お問合せは (オーバード・ホール1階) 月曜日定休(月曜が祝日の場合翌平日休み)
 ※この情報誌発行時にチケット完売の際はご了承ください。 ※チケット発売初日はカウンターが混み合うことがありますのでご了承ください。

特典1 アスネット指定イベントのチケットを会員先行発売でいち早く入手
 特典2 アスネット取扱チケットが1公演通常4枚まで10%OFF
 特典3 チケットは電話1本で代金口座引き落とし、ご自宅へ無料郵送
 特典4 情報誌 mite mite や公演チラシなどの情報をお届け
 特典5 入会金は無料・初年度年会費も無料

●アスネット JCB カード
 年会費 2,500円
 (家族会員 1,600円)
 ※JCBのサービスも受けられるお得なカード

●アスネットハウスカード
 年会費 1,800円

ご入会のお申し込み・お問合せはアスネットカウンターまで